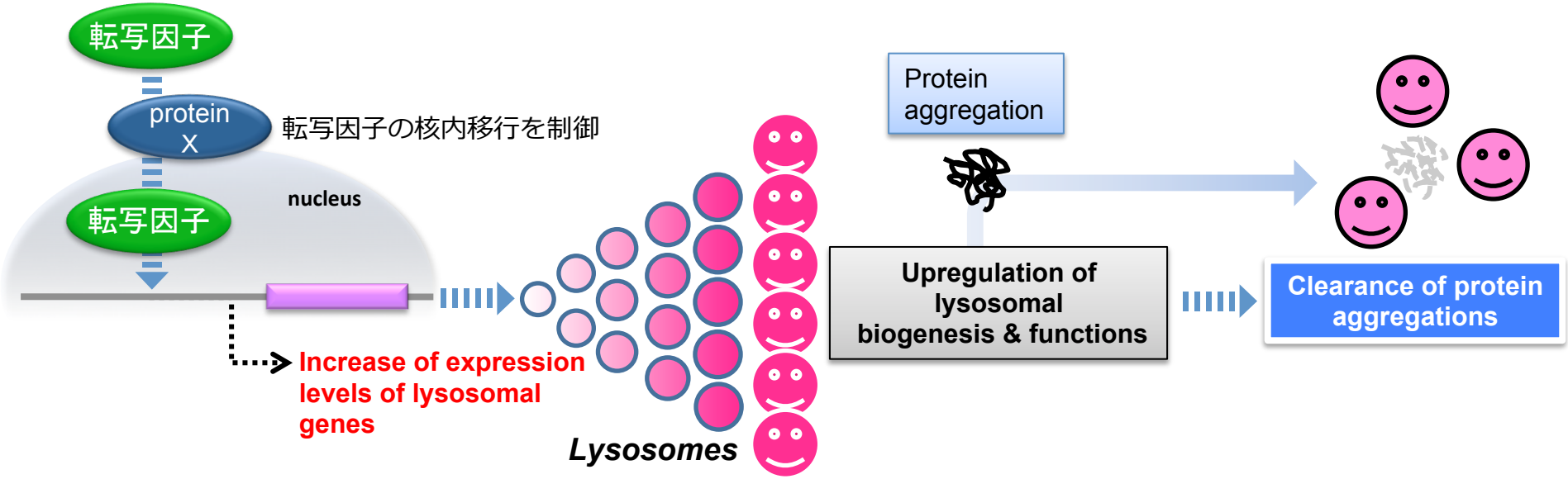
研究課題

リソソーム遺伝子転写誘導を標的とした神経変性疾患に対する治療薬の開発

研究代表者：藤本 景子(助教)　所属：九州大学大学院薬学研究院 細胞生物薬学分野
（メンター：田中 嘉孝)

リソソーム機能不全 → タンパク質凝集体の形成・蓄積 → 神経変性疾患、悪性腫瘍など



リソソーム遺伝子の転写誘導により、リソソーム機能を亢進させ、神経変性疾患(パーキンソン病、アルツハイマー病など)における異常タンパク質の蓄積を抑制する化合物を探索する。